



こころ

第102号

2023年8月

議会だより

目 次

議員定数削減		2.3
注目事業		4
一般質問		6
VOICE		12

2削減を可決

条例
改正

議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例

提出者 岡田 隆行

賛成者 丸山 恵二、宮崎 光一、阪東 佐智男、野瀬 欣廣、山田 裕康、山田 充、小森 正彦

提案理由

岡田 隆行

以前、住民の減少が非常に大きく、定数削減について、他の議員とも相談したが、その時はまだ議論が尽きていないのではという指摘も受け、いったん保留した。今回、急ではあったが、町民から、議会が出さなければ、私たちから出してもいいという厳しい意見があり、議会から提出したいと考えた。多賀町においても定数削減が可決されている。本町では、昨年4月に過疎指定され、県下でも一番人口流出が激しい。現数11人だが、活発な意見討議もできているため、10人に減らしても問題はないと考える。

反対

木村 修

定数削減よりも議員報酬を削減したほうがいいと考える。平成20年には、13ケ字中10ケ字の議員がいた。その後、8ケ字に減り、今現在は6ケ字になった。定数削減で10人になると、私の考えでは、立候補者が出なくなる字が数ケ字出てくるように思う。人口6,000人を切ったところに定数削減を考えたらいいと思う。今ではない。定数削減により、行政のチェック機能の低下、議員選出の字の偏りがでることが考えられる。

討論

反対

西澤 伸明

住民の多様な要望・意見を切ることにつながるかと考える。議員報酬を引き上げ、やる気のある少数精鋭での議論もあったが、選挙でやる気のある町民が当選するとは限らない。また、女性議員の誕生も重要な課題であり、定数を減らせれば、ハードルが高くなる。時期の問題もある。来年の1月の改選を目指して、動きが始まっている時期に定数削減を提案するのは、「門戸を狭める狙いありか」と疑われ、提案そのものに道理が感じられない。

反対

阪東 佐智男

定数削減について異論はないので、委員会では賛成したが、報酬とセットにしたほうが良い。今、定数削減すると住民から「よくやった」と褒めていただけだと思うが、逆に次の議会でも報酬上げさせてくださいとなるとお叱りを受けるのではないかと。定数と報酬は、しっかりと見ていって検討していくことが重要だと考える。

次の町議選から 定数10人に

議員定数

6月14日、議員発議による議員定数を現行の12人から10人に減らす条例改正は、賛成多数により可決。令和5年7月1日から施行し、この条例の施行の日以後初めてその期日を告示される一般選挙から適用。

賛成6 丸山、宮寄、野瀬、山田裕、岡田、小森

反対3 西澤、木村、阪東

欠席 山田充

賛成

宮寄 光一

令和4年4月には「過疎指定」され、残念ながら人口減少に歯止めがかかっていない実情である。

多賀町は、令和5年1月1日施行で、議員定数10人になった。多賀町よりも人口が少ない本町において、定数削減は避けて通れないことであると考ええる。

定数削減による議会機能の低下を危惧する声もあるが、議員間の資質向上とスキルアップにより、自由かつ達な討議や、監視機能は維持できるのではないかと考える。

賛成

野瀬 欣廣

本町は、滋賀県で一番小さい（人口が少ない）町である。ゆくゆくは議員定数を削減せざるを得ないという時期が来ると思う。それが今かどうかという議論があつたが、この議案が出た時点で結論を出さないとずるずるいつてしまうと思う。

賛成

山田 裕康

本町は人口減少が一番激しく、6,000人を割るかというところに来ている。大きい町でも14人から12人に減らしているところもあり、人口減少していることを受け止めていき、定数も減らすことも必要だと考える。

賛成

小森 正彦

定数12人のところに10人しか集まらない、そこに2人空いているからと言って、報酬が欲しいがために議員になろうという人が増えてきたとき、そんな人達に本町を任せてはいけないという気持ちがある。やる気のある10人に本町のために働いてもらいたい。

報酬の増減の話も出ていたが、現時点で文句や不平が出ていないので、報酬をさわる必要はない。職員の給料は下げて、議員の給料を上げるという意見はおかしいと思う。報酬はそのまま定数削減に賛成である。

賛成

丸山 恵二

県内では6つの町だけになったが、人口は愛荘町や日野町では2万人以上、竜王町では1万人以上であり、犬上3町に関しては、早くから1万人を切っている。人口減少しているから議員を減らすのではなく、そういう時期が来たと思う。



注目事業

6月
議会

令和5年度 一般会計補正予算（第1号）

可決

補正額 8,083万円 補正後予算額 39億6,158万円

補聴器購入助成



申請者増加により、4万円×15人分を補正

60万円増額

農業経営継続緊急支援 事業補助金



燃料高騰や資材高騰などによる農家経営への支援として、水稻作付面積10アールあたり2,000円の補助

800万円増額

ため池整備事業



若宮溜洪水吐漏水対策工事（池寺）

450万円増額

せせらぎの里こうら管理事業



インボイス対応、また来客増へ対応するため、セミセルフ方式のレジシステムの導入費用

511万円増額

審議結果

令和5年6月定例会

6月5日～6月14日

報 告

令和4年度繰越明許費繰越計算書について（一般会計予算）

専決処分の報告について

全 員 賛 成 （山田充議員欠席）

専決処分につき、承認を求めることについて

（税条例の一部を改正する条例、介護保険条例の一部を改正する条例、令和4年度墓地公園事業特別会計補正予算（第3号））

税条例の一部を改正する条例

子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例

令和5年度 一般会計補正予算（第1号）

令和5年度 下水道事業会計補正予算（第1号）

令和5年度 水道事業会計補正予算（第1号）

農業委員会の委員の任命につき、同意を求めることについて

松居敏弘氏（在士）、若松嘉一氏（下之郷）、北川勝氏（尼子）、古川俊雄氏（尼子）、建部聖子氏（小川原）、北川茂樹氏（小川原）、上田勝氏（北落）、鋒山二三男氏（金屋）、若林平男氏（正楽寺）、谷口栄治氏（池寺）、大橋徳文氏（長寺）、山崎佳七氏（長寺）、宮尾綾子氏（法養寺）、奥野浩義氏（横関）

議会改革調査・検討特別委員会設置目的追加に関する決議（案）

賛否がわかれたもの

	議 員 名											議長	結果
	小森	岡田	山田充	山田裕	野瀬	阪東	宮崎	丸山	木村	西澤	建部		
専決処分につき、承認を求めることについて （国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	－		承認
専決処分につき、承認を求めることについて （令和4年度一般会計補正予算（第12号））	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	－		
議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例（案）	○	○	欠	○	○	●	○	○	●	●	－		可決

【賛成は○、反対は●、議長は可否同数の場合のみ採決に加わる】

令和5年第5回臨時会

7月3日

全 員 賛 成 （山田充議員欠席）

令和5年度 一般会計補正予算（第2号）

令和5年度 一般会計補正予算（第2号）



補正額 **1,118万円** 補正後予算額 **39億7,277万円**

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で対応

- ・ 図書カード交付事業 **384万円**
町内在住の中学3年生までのこどもへ、一人につき図書カード（5,000円分）を交付
- ・ コロナ禍における消費者への支援 **734万円**
町内の子育て世帯（22才以下）に米20キロを配布



一般質問

町政のここが知りたい！ 聞きたい！

一般質問とは、議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、町長などに方針を問うものです。

ページ	質問事項	質問議員
7	◎企業誘致の募集の進捗状況について ◎犬上川の福寿橋の上の工事について	まるやま けいじ 丸山 恵二
8	・交通税、負担金、補助金について ◎本町の公共交通の検討について ◎教育行政について	きむら おさむ 木村 修
9	◎基幹産業である農業の活性化と深刻な過疎化による移住定住推進に向けた取組について ◎改正児童福祉法についてと今後の本町の対応は ・改正道交法による自転車乗車時のヘルメット着用の努力義務について ・不適切保育について	おかだ たかゆき 岡田 隆行
10	◎AED設置について ・くらし応援・子育て応援の課題をどう取り組むか ・ゴミの減量について ・町長の「町のイメージを消したい」発言とは ◎税金等の適切な管理について	にしざわ のぶあき 西澤 伸明
11	◎甲良町総合公園の運営状況を問う ・住宅新築資金の裁判における矛盾点を問う ・元職員の裁判で行政が負けたことに対して問う ◎肥料の高騰が続いているが、今年度の対応策は	やまだ ひろやす 山田 裕康



◎印の質問を掲載しています。

一般質問



丸山 恵二 議員

問 企業誘致の進捗状況は

答 進入路の一部で町有地でない箇所と面積が確定した



産業集積地

問 企業誘致の進捗状況はいかがか。

また、現状の進入路は大型トラックが通れない幅である。地積調査の結果を踏まえた対応を取るとともに、企業誘致を進めていくために進入路の拡幅が必要と考える。一方で企業誘致が難しい場合は他の活用を考える必要があるかと思うが、町の考えはいかがか。

答 地積調査において国道307号線からの

進入路の一部で町有地でない箇所と面積が確定した状況である。

そのため企業誘致に向け、まずは町有地として買収する必要があると考えている。

また、買収については池寺区の下承を得る必要があるため協議を進める。町としては、第4次総合計画、持続的発展計画において企業誘致を進めるとしていることから、今後引き続き重点施策として進めていく。

問 犬上川の福寿橋付近の

工事について問う

答 早急な対応を県に強く要望していく

続き、県に早急に対応するよう強く要望を

行っていく。

問 犬上川の福寿橋付近の道路について、令和3年の大雪の影響により竹等が倒れ、道を覆い、通行止めが続いている状況である。地元の方や農業者の方から通行止めが続いており、不便という声も聞いている。町から県に工事の要望などはしているのか。早急に対応を求める。

答 県には令和4年度当初から要望しており、順次実施すると口頭で回答があった。町では伐採作業を行っているが、奥の方から倒れてきて、また後から押すというような形で竹が倒れてくる状況である。そのため、今後も引き



福寿橋付近の道路

問「愛のりタクシー」の今後は

答 利用しやすいように要望を聞きながら考える



木村 修 議員

利用しやすいよう要望を聞きながら在り方を考えていく。湖国バスは、町から1,000万円前後の補助で、

長寺長憲寺前、北落草の根ハウス前、長寺緑ヶ丘団地、働き教育センター甲良前、下之郷ふれあい公民館前が多い。愛のりタクシー事業は、3か年の決算額が約1,000万円で、国庫補助金が約半分の500万円、町単費の実質負担が500万円である。ここ数年は利用者が堅調に増加しており、町においては継続すべきものと考えている。

問 愛のりタクシーの町内利用上位地区と、今後の愛のりタクシー事業の考え方は。また、湖国バスへの補助金と、今後の補助事業の考え方は。近江鉄道の上下分離方式とは何か。



県から町に100万円前後の補助金がある。行政として公共交通を維持させる責任もあり、引き続き町民目線に立った移動手段を検討していきたい。近江鉄道の上下分離方式とは、上の列車の運行、下の施設の保有、この上と下を別々の事業者が行うことを言う。

問 教職調整額とは

答 時間外勤務手当に代わるもので、

国で議論中

問 専門教員の拡充など本町の実情は。本町の月平均の残業実態は。教員不足が叫ばれているが、本町の対応は。また、教職調整額とは何か。

答 専門教員は、両小学校それぞれに2名を配置している。月45時間が超過勤務時間の目安時間の上限である。平均超過勤務時間は、東小学校約43時間、西小学校約68時間、中学校約49時間で、校内事情もある。4月当初はフルメンバーでスタートしたが、長期的な休みが出た場合、免許をもっている先生を探して

補充しなければならぬ。管理職をというところもあるが、第一にとは考えない。教職調整額は、教員の働き方には、時間外勤務手当の支給はふさわしくないため、その代わりに給料月額

4%を一律に支給している。

しかし、昭和41年の勤務実態から算出されたものなので実態に合わず、国としても今議論されているところであり、改革を期待する。



問 農福連携とは どのようなものか



岡田 隆行 議員

答 障害者が農業分野で
社会参画を実現していく取組

問 障害者と農業が作る新しい関係として農福連携が注目されているが、この農福連携とはどのようなものか。

また本町でも取り入れるとしたら、どのような支援が考えられるか。

答 農福連携とは、障害者が農業分野で活躍することを通じて、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組。支援の取組



働き教育センター甲良 収穫風景

の一例として、マッチングの支援が考えられる。働く意欲のある障害者と働き手を探している農家のマッチング、働き教育センター、せせらぎ作業所、甲良養護学校などの障害者と認定農業者及び集落営農法人等のマッチングが考えられる。これにより、農業に興味と意欲を持つ障害者の働きの場の確保と、農家の人材不足を少しでも回復することが期待できる。

問 改正児童福祉法についてと、 今後の本町の対応は

答 子ども施策の推進体制を

検討していく必要がある

問 改正児童福祉法の対応に向けてのこれから本町の取組は。
また、課題や問題点は。

機関、子ども家庭センターは、設置を努力義務として明記されているところ。現在、子育て支援センターを拠点として、子ども・家庭支援を行っている。昨年年度から、公認心理師、今年度は相談員を増員して対応。よりきめ細かな支援を行うためには、専門職員の増員が課題であると考えている。

答 各市町が取り組む必要があるのは、子ども家庭センターの整備。子ども家庭センターとは、虐待や親子間の不適切な関係などを抱えた子どもや保護者を支援する子ども家庭総合支援拠点、子育てセンター部門。妊産婦や乳幼児の保護者の相談機関、子育て世代包括支援センター、保健福祉課の母子の保健部門。この2つの機関を一体化した相談



子育て支援センター



西澤 伸明 議員

問 救急救命のために AED設置の補助制度を

答 他市町を参考にしながら対応したい

問 人の命は何にも代えがたいもの。何よりも最優先で人命救助に当たらねばならない。AEDの機能と設置の意義とは。また、町内の公共施設などでの設置状況は。字公民館に普及するには、町自体が人命尊重の予算を十分確保し、AED設置を含めた補助制度が必要では。

答 AEDは、心臓がけいれんし、血液を流すポンプ機能が失った状態の心臓に対し、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための機能を有する機器である。

心肺停止の傷病者を3分間手当てしない場合、救命率は50%となり、5分経過すると救命率は20%になる。そのことから、救急車の到着より先に手当てするには大いに意義

がある。

消防署の令和4年度の資料によると入電から到着までの時間は7分28秒とのこと。

現在の設置状況は、役場、福祉センター、運動公園など公共施設11施設に13台。学校関係は、7施設10台。字公民館は、尼子、小川原、北落、法養寺、横関の5集落に設置している。

町には消防防災の施設整備補助金があり、他の市町を参考に对应していきたい。



問 裁判長の提起を受け、 税の厳格な管理のために

深謝と検証を

答 公金管理マニュアル等に従い

行政事務をすすめたい

問 本町の悪いイメージの一つ、税金の不適切な取扱いを町民18人が訴えた裁判で、裁判長より税金の不適切な管理が指摘され、和解に相当する提案を受け、町長が町民に対し「深謝」することを受入れたので、原告は訴状を取り下げる事になった。多額の欠損を生じたことの責任、財務規則の厳格な遵守などが合意された。町長の見解は。

答 広報において、本件について深謝し、背景・要因、総括にも触れて発表した。

町の不納欠損額は、何百万円台で推移をしていたところ、平成26年度になり1,300万円となった。これを

何で見逃したかが問われる。徴収担当の税務課、決算書調製の会計室、財政担当の総務課、組織として見逃したことは重い。

公金着服事件に関する第三者委員会の報告では、税の徴収体制、職員のモラル、町の組織風土の問題の3点

が指摘された。

今後、これを教訓に、公金管理・債権管理両マニュアル等々、会計管理者が、入念に事務チェックを行う事務の改善を図り行政事務を進めていきたい。





山田 裕康 議員

問 町総合公園の 運営は今後 どのようにしていくのか

一般質問

答 指定管理制度を導入して、利用を促していきたい



問 運営の見直しによ
って、赤字はどのま
で抑えられるのか。

答 公園の維持管理だ
けで、約600万円強
の費用があり、それ
以外に木の伐採費な
どもある。

指定管理制度の導入

を検討しているが、
1,000万円を超え
る費用が発生する。

※本町は、財政危機宣
言を発している。
経費を抑え、早急な
改善をして、赤字を
なくしていく努力を。

問 今年度の農家支援は、 どのように考えているのか

答 コロナ臨時交付金を活用して
6月補正予算に計上

問 肥料の高騰などに
より、農家経営は厳し
くなるが、本町の農業
を守るために、これか
ら必要になることは何
であると考えているか。

答 農業経営の継続を
後押ししていくため
は、農業所得の確保が
必要だ。

引き続き生産資材の
高騰による生産コスト
の増大への喫緊の対応
が必要である。農業
経営継続緊急支援事業
補助金を6月補正予算
に計上。

本町を含め、農業
経営の全体の転機を
迎えているのではな
いかと思っている。



※本町の農家を守る
対策を。

VOICE

Episode.2



議会だよりへのご意見

- よくご覧になれますか
発行された際は拝見しています。
- 感想は
町全体でどのような取り組みがされていて
お金がどのように使われているか知ることが
でき、いいと思います。
- 興味のある記事は
甲良農業と給食費無償化です。
物価が高騰しているため、地産地消を積極的
にしていけたらいいなと思いました。
- 町・議会への提案
農業復興支援、お年寄りの方に優しい環境
づくり、子育てしやすい環境づくり、子供達が
勉強しやすい環境づくりに力を入れていただき
たいです。



氏名 やすざわ まりこ 安澤 真梨子さん
(尼子)

9月定例会の予定

～議会を傍聴してみませんか～

月 日	内 容
9月4日	全員協議会
6日	開会・一般質問
7日	一般質問（予備日）
11日	予算決算委員会
13日	予算決算委員会
14日	予算決算委員会（予備日）
15日	委員会（予備日）
25日	閉会

なお、都合により日程
が変更になる場合がご
ざいます。
会期日程、議会会議録
などは、ホームページ
でも公開しています。

発行責任者
議会広報特別委員会

議長	建部 孝夫
委員長	丸山 恵二
副委員長	岡田 隆行
委員	阪東 佐智男
	山田 裕康
	山田 充

今年も戦後78回目の終戦記念日が近づいてきました。日本では先の大戦で350万人の方々が犠牲になりました。

昨年が始まったロシアによるウクライナ侵攻により多くの都市が廃墟となり、避難する子供や女性、老人などの画像を見ると人間の愚かな判断が多くの人々の人生までも奪い取っている様子がわかります。戦争は勝者敗者も犠牲がともないます。早く平和が戻ることを祈ります。

(阪東)

あ
と
が
き